あなたの心にジャストミート　レムナント教会 4 月 25 日メッセージ

豊かな人生（創世記 6:1-8）

人々は、お金持ちになりたいと願います。当然のように、経済的に豊かで、肉的に豊かならば、人生は安定して豊かに暮らせると考えているからです。たしかに経済的な豊かさは、多くのことを可能にします。世の中の構造が、経済的な豊かさがあれば優遇されるようになっているからです。お金の力は大きく、ほとんどのことが、お金で買えます。そのような、お金が万能であるという思想、経済至上主義の考えは、ノアの時代からありました。まるでお金が神のようになっていて、宗教、偶像をそのために作るのです。そして、ネフィリム時代になります。ネフィリムとは、上から落ちた者という意味で、サタンのことです。サタンが、まことの神様に会えないように、世の中の流れを、神様から遠ざけて、敵対するようにコントロールしているのです。いまは、グローバル化されて、世界中の思想が同じようになって、経済的な豊かさ、肉的に優れていることを求めるようになっています。しかし、それらを手に入れても、災いには勝てないのです。それが聖書のみことばや、歴史で証明されています。経済的な豊かさでは、戦争、社会犯罪、自然災害、大きな事故や事件、病気などは、防ぐことができません。ネフィリムによって神様の怒りを買い、大洪水によって人類が滅びる結果につながったことと同じです。どんなに豊かになっても、人生の根本は変えることはできず、原罪は解決できないからです。経済が問題なのではなく、経済を動かす人間が変わらなければなりません。

すべての人は、原罪を抱え、神様から離れて、どうにもならない問題に捕らわれています。キリスト以外には、それを変えることはできません。この人間の根本が変わらない以上、経済的な豊かさの魅力は、神となって、かえってまことの神様に敵対する道具となってしまうのです。空中の権威を持つ支配者と言われているサタンに従って、神様の御怒りを受けるしかありません。このことをしっかりと心に刻みましょう。イエスをキリストと信じて受け入れた私たちは、神様の霊が宿る、貴重な存在となっていて、十分に世を生かせる存在となっているのに、昔のままの考えがあるなら、その価値が現れないからです。経済的な豊かさが、人生の豊かさにはならないと、考えを変えましょう。

滅びの人生から救い出されなければなりません。すべての人が、罪過と罪ゆえに死んでいるので（エペソ 2:1）、世の流れの奴隷になって、まことの神様を認めず、神様に敵対する方向に行き、御怒りを受けるしかない状態です（エペソ 2:3）。この滅びの人生から抜け出し、まことの創造の神様に出会い、いのちを得て、神のかたち（創世記 1:27）を回復しなければなりません。パルカルは、人間には神様しか埋められない穴があり、その穴を埋めようと他のものを入れようとしても、かえって、のどが渇くときに海水を飲むようなものだと表現しました。まことの豊かな人生とは、滅びの人生を抜け出して、いのちを得る人生です。そのために、いのちの主であるイエス様が来られました。ネフィリム時代には、箱舟に入れば助かりました。その箱舟は、キリストのことです。イエスがキリストで、道であり、真理であり、いのちです（ヨハネ 14:6）。イエス様を信じる者は、永遠のいのちを持ち、死からいのちに移ります（ヨハネ 5:24）。イエス様が来られたのは、いのちを得て、そのいのちを豊かに持つためです（ヨハネ 10:10）。まことの豊かさは、イエス・キリストを信じるときに与えられるものです。滅びと災いの人生から、いのちが与えられて、世界でいちばん豊かな人生に造り変えられます。イエスを持っているのか、持っていないのかで、豊かな人生なのかどうかが分かれるのです。これを知っていたパウロは、刑務所の中で、天にあるすべての霊的な祝福を受けていると感謝して、どんなときにも満足できると告白しました。これがまことに豊かな人生です。なにもなくても、地の果てまで、イエスの証人になるほど豊かな人生になります。まわりの人を助けることができる人は、ほかにはいないのです。今、キリストにあって、豊かな人生になっていることを認め、キリストの中にある豊かさを自分のものとして味わうことが大切です。すでに王である祭司として身分が変わっているからです（Ⅰペテロ 2:9）。

経済的な豊かさが人生の豊かさだという刻印を、キリストの中にいることが人生の豊かさだと変えましょう。死の陰の谷にいても恐れる必要がなく、世界を変えることができ、家系ののろいを断ち切る豊かな人生に造り変えられています。人生の方向を修正しましょう。まず、第一に神の国とその義とを求め、災いの人生が豊かな人生に変えられることを求めましょう。そして、キリストの中の豊かさを十分に自分のものとして味わいましょう。神の国とその義を求めること以外、他にないとなるほど、豊かになっていることを味わいましょう。そして、経済観を改めましょう。神の国と義のために使うため（献金するため）に、働いて稼ぐという正しい経済観を持ちましょう。そうでなければ、経済と神様と２つの神に仕えるようになり、結局は、経済が神となって災いになります。経済は、神の国と義との道具にすぎないのです。

キリストによってすでに豊かで、いつまでも豊かに生きることができる存在になっていることを味わい、正しい意味で、神様が備えておられる経済の祝福を味わう主人公になるようにお祈りします。

（http://jremnant.com に音声と動画が出ています）

メッセージカード

創世記 6：1-8 豊かな人生

なるほど/多くの人が、肉体的な豊かさ（特に経済）の中に人生の安定と幸せがあると信じている。事実、経済の豊かさは多くのことを可能にし、便利なものだが、しかし、経済豊かさは災いに勝てないし防ぐことができない。結果、人生に真の豊かさを与えることはできない。本当に豊かな人生は、災いの人生から脱して、神様に会うときに得られるものであり、それは、キリスト・イエスを信じるとき可能である。すなわち、豊かな人生は、イエス・キリストの中にある。

ならば/イエスを受け入れて豊かな人生への扉を開いて、イエスの中の豊かさを味わおう。そして、正しい経済観を確立しよう。

インマヌエル教会聖日メッセージ祈り文（2016 年 4 月 24 日）

1 部礼拝　：　オバデヤの生涯（Ⅰ列 18：7―15）

戦うしかない世の現場の中で、私が行く場所ごとに神の国が臨まれる答えと力を持って、世の中に勝つ真の契約を握るようにされて感謝します。神の子どもという身分を持って、行く場所ごとに神の国が臨まれる霊力と実力を持って疎通しますように。神の子どもに与えられた権威を持って、霊的戦争で静かでありながらも雄々し堂々と勝利しますように。そして、不可能を可能にする使命を持って、行く場所ごとに人を生かし、この時代の隠れた主役になりますように。イエス･キリストの御名によってお祈りします。アーメン。

2 部礼拝　：　アハブ王とイゼベルの生涯（Ⅰ列 19：1―5）

毎日の夕方、神様の前で明日のスケジュールを準備して、契約を握って力を得る祈りの時刻表を持つようにされて、エリヤに起きたことを味わうようにされて感謝します。神様が与えられた力を持って、悪い人と災い、永遠の問題を解決して、永遠の答えを味わいますように。サタンがもたらした 12 問題のにせ力と、サタンのいたずらにだまされず、祈りの中に入って力を得ますように。私と教会の無能にだまされず、神様が行われる多民族宣教の祝福を味わう証人となりますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。